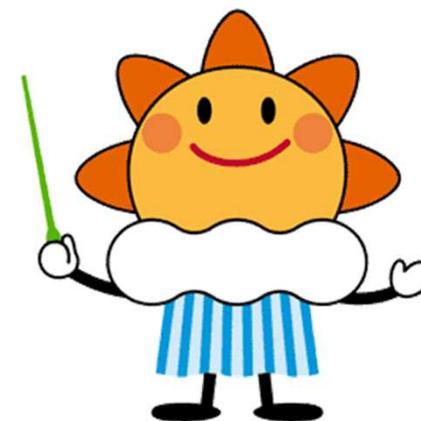


風水害で気象台が提供する防災気象情報

警戒レベルと防災気象情報について

名古屋地方気象台



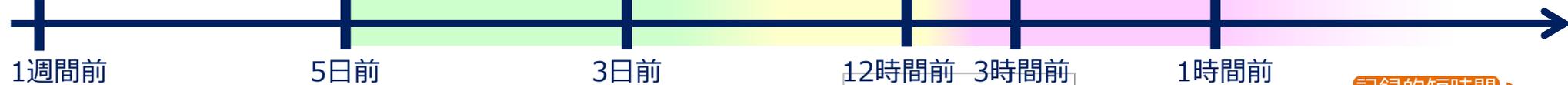
気象庁のマスコットキャラクター
“はれるん”

本日本話する内容

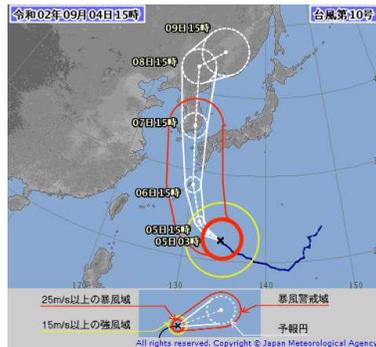
- ✓ 大雨時に段階的に発表する防災気象情報
- ✓ 5段階の警戒レベルと防災気象情報
- ✓ 気象庁HPの活用（閲覧方法の紹介）
- ✓ 大雨が予測される場合に気象台が伝えた内容
- ✓ 気象災害に関する資料

- 気象庁は様々な防災気象情報を発表しており、線状降水帯に関する情報は、この中のひとつ
- この情報だけに着目するのではなく、段階的に発表される防災気象情報全体を活用いただくことが重要

先行時間



随時に発表



大潮による高い潮位に関する全般潮位情報 第1号
平成27年10月20日11時00分 気象庁地球環境・海洋部発表

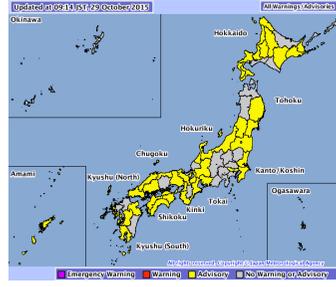
【要出】
10月27日の満月の前後は大潮の時期にあたり、満潮の時間帯を中心に潮位が高くなります。東北地方から関東地方北部にかけての太平洋沿岸及び日本海沿岸の一部では、海岸や河口付近の低地で浸水や冠水のおそれがあります。

【本文】
夏から秋にかけては海水温が高い等の影響で、平常時の潮位が年間でも最も高い時期となります。さらに、10月27日の満月の前後は大潮の時期にあたるため、満潮の時間帯を中心に潮位が高くなります。また、平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震により、東北地方から関東地方北部にかけての太平洋沿岸では地盤が沈み込んでいます。そのため、東北地方から関東地方北部にかけての太平洋沿岸、中国地方、四国地方及び九州北部・鹿児島地方の沿岸の一部では、10月28日から11月1日にかけて、満潮の時間帯を中心に海岸や河口付近の低地で浸水や冠水のおそれがありますので注意してください。

なお、この期間中に台風や低気圧の通過等があった場合や、短時間に海面が急激に低下する断崖崩壊の発生等があった場合は、さらに潮位が上昇する可能性があります。

今後、気象庁から発表される高潮警報・注意報や潮位情報に十分留意してください。

【大潮による高い潮位に関する全般潮位情報】は本号のみとします。



気象庁発表の防災気象情報

【特別】
【重要】
【注意】

【特別】
【重要】
【注意】

【特別】
【重要】
【注意】

記録的短時間
大雨情報

顕著な大雨に関する
気象情報 (R3年6月~)

土砂災害警戒情報

指定河川洪水予報

気象注意報・警報・特別警報

(大雨・暴風等に関する) ○○県気象情報

台風情報 (進路・強度予報)

定期的に発表

週間天気予報・天気予報

早期注意情報 (警報級の可能性)

令和2年11月4日(月)の予報

能本県能本地方の早期注意情報(警報級の可能性)
能本地方では、5日までの期間内に、大雨警報を発生する可能性が高い。

種別	4日		5日	
	予報	注意	予報	注意
大雨	(高)	(高)	(高)	(中)
暴風	--	--	--	--
豪雪	--	--	--	--

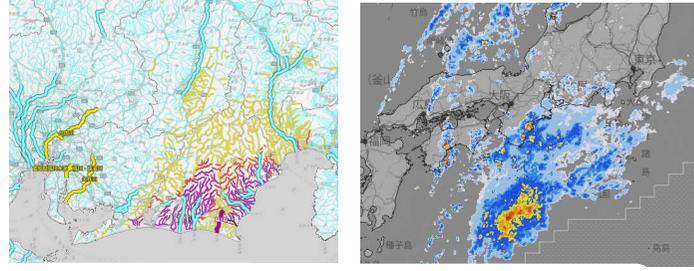
能本県阿蘇地方の早期注意情報(警報級の可能性)
阿蘇地方では、5日までの期間内に、大雨警報を発生する可能性が高い。

種別	4日		5日	
	予報	注意	予報	注意
大雨	--	--	--	--
暴風	--	--	--	--
豪雪	--	--	--	--

降水短時間予報

ナウキャスト
(降水・雷・竜巻)

キキクル (土砂災害・浸水害・洪水害)



警戒レベル4は、危険な場所から全員避難

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保※1
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難！> ~~~~~			
4	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示(注)
3	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである

(注) 避難指示は、令和3年の災対法改正以前の避難勧告のタイミングで発令する

令和3年5月 内閣府（防災担当）「避難情報に関するガイドライン」より引用

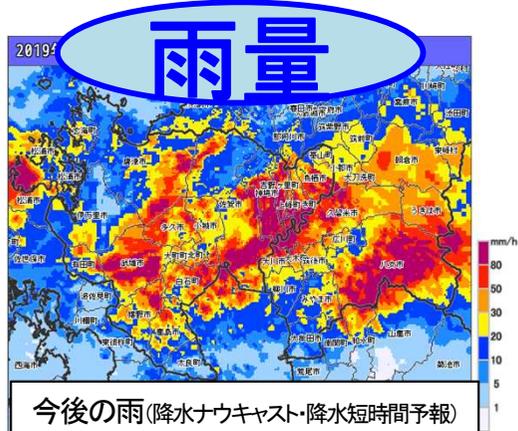
# レベルに応じて発表される防災気象情報

令和4年  
6月30日～

警戒レベル	住民が取るべき行動	市町村の対応	気象庁等の情報	キキクル (危険度分布)	相当する警戒レベル
5	<b>命の危険 直ちに安全確保！</b> ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	<b>緊急安全確保</b> ※必ず発令される情報ではない	<b>大雨特別警報</b>	<b>災害切迫</b> <b>氾濫発生情報</b>	5相当
<警戒レベル4までに必ず避難！>					
4	<b>・危険な場所から全員避難</b> ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	<b>避難指示</b> <b>第4次防災体制</b> (災害対策本部設置)	<b>土砂災害警戒情報</b> <b>高潮警報</b> <b>高潮特別警報</b>	<b>危険</b> <b>氾濫危険情報</b>	4相当
3	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> ・高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	<b>高齢者等避難</b> <b>第3次防災体制</b> (避難指示の発令を判断できる体制)	※ <b>大雨警報</b> <b>洪水警報</b> 高潮警報に切り替える可能性が高い <b>注意報</b>	<b>警戒</b> <b>氾濫警戒情報</b>	3相当
2	<b>自らの避難行動を確認</b> ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	<b>第2次防災体制</b> (高齢者等避難の発令を判断できる体制)	大雨警報に切り替える可能性が高い <b>注意報</b> <b>高潮注意報</b>	<b>注意</b> <b>氾濫注意情報</b>	2相当
1	<b>災害への心構えを高める</b> 行動計画の判断は警戒レベル1・2の段階で求められる可能性ある	<b>第1次防災体制</b> (連絡要員を配置) ・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	<b>早期注意情報</b> (警報級の可能性)	気象庁やブロック機関による記者会見等 気象台からのコメント 防災メール 台風に関する情報 全般・地方・府県気象情報	

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3 (高齢者等避難) に相当します。

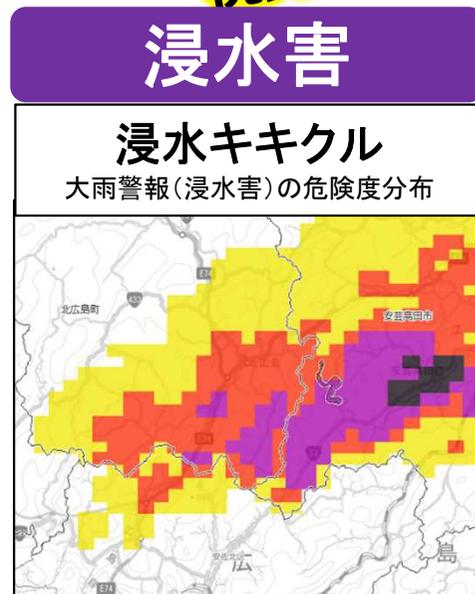
# キキクル(大雨・洪水警報の危険度分布)



大雨の降っている場所は  
気象レーダーで把握可能

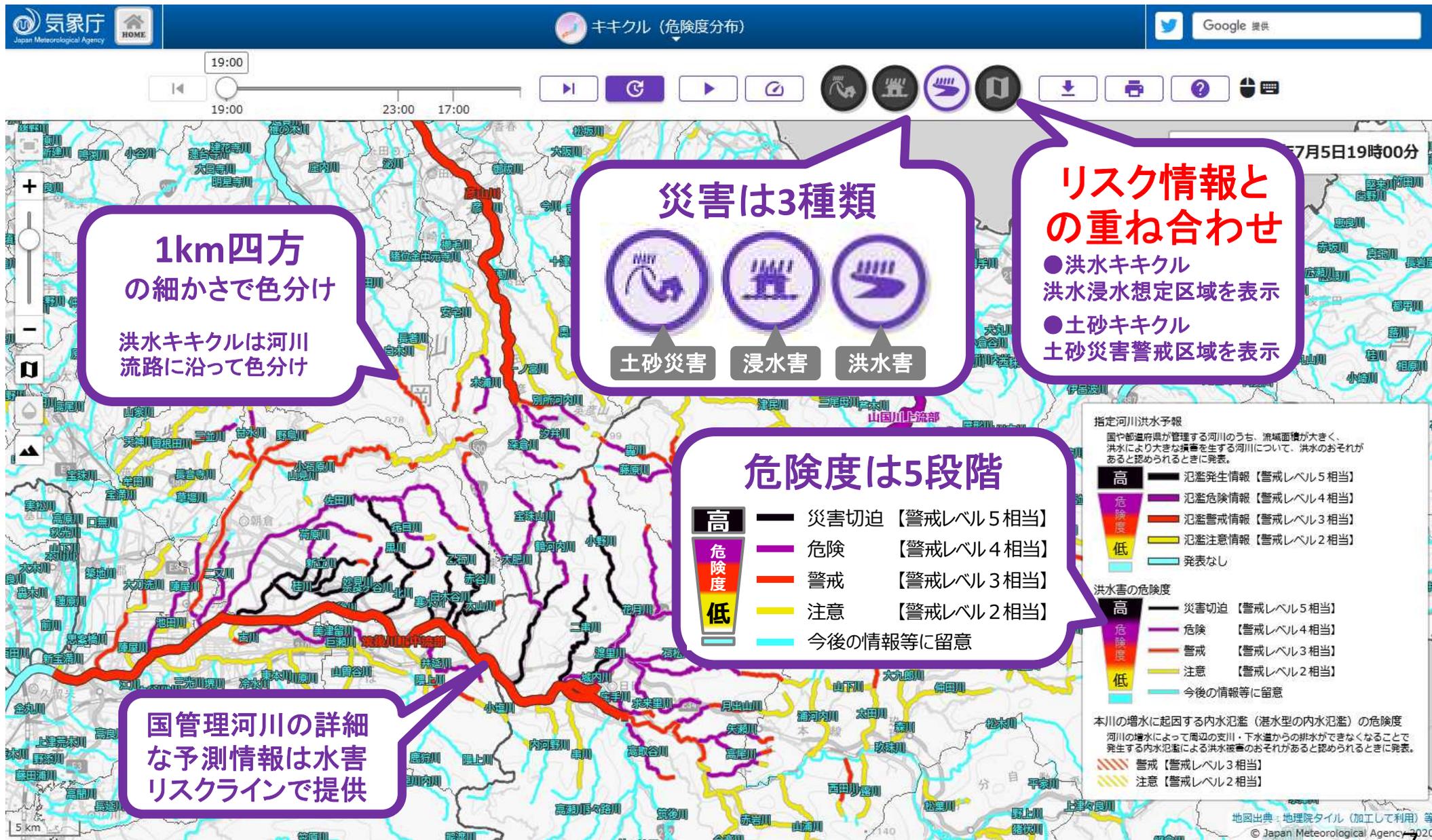
(しかし、災害の発生する場所・時間とは、  
必ずしも一致しない。)

スマートフォンで気象庁HPのトップ  
ページから容易にアクセス可能



※ 1 km四方のメッシュ毎に5段階に色分け

- 雨による災害の危険度を地図上にリアルタイム表示（気象庁ホームページ上で10分ごとに更新）
- 土砂災害・浸水害・洪水害それぞれの危険度を5段階に色分けして表示
- 洪水キキクルと水害リスクラインを一体化し、大河川から中小河川までの地域の洪水の危険度を一体的に表示（令和5年2月16日～）



## いつ

### 5日先までの早期注意情報

早期注意情報（警報級の可能性）  
南部では、4日までの期間内に、暴風、波浪警報を公表する可能性が高い。  
また、4日明け方までの期間内に、大雨警報を公表する可能性がある。

翌日まで  
・天気予報と合わせて発表  
・時間帯を区切って表示

2日先～5日先まで  
・週間天気予報と合わせて発表  
・日単位で表示

〇〇県南部 警報級の可能性	3日			4日			5日	6日	7日	8日
	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24					
大雨		[中]							[中]	
暴風				[高]				[中]	[高]	
波浪				[高]				[中]	[高]	

[高]: 警報を発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況です。明日までの警報級の可能性が[高]とされているときは、危険度が高まる詳細な時間帯を本ページ上段の気象警報・注意報で確認してください。  
[中]: [高]ほど可能性は高くありませんが、命に危険を及ぼすような警報級の現象となりうることを表しています。明日までの警報級の可能性が[中]とされているときは、深夜などの警報発表も想定して心構えを高めてください。  
※警戒レベルとの関係  
早期注意情報(警報級の可能性) *...[警戒レベル1]  
*大雨に関して、[高]又は[中]が予想されている場合。

翌日まで

前日の夕方の方で、必ずしも可能性は高くないものの、夜間～翌日早朝までの間に警報級の大雨となる可能性もあることが分かる！

2日先～5日先まで

数日先の荒天について可能性を把握することができる！

### 警報等の危険度を色分けした時系列

平成〇〇年〇月〇日 16時30分 〇〇地方気象台発表  
〇〇県の注意警戒事項  
〇〇県では、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水、落雷に注意してください。

イメージ

## どれ位

時系列で危険度を色分けした分かりやすい表示で提供

どの程度の強度(危険度)の現象が、どのくらい先の時間帯(切迫度)に発現すると予想されているのかを、視覚的に把握しやすい形で伝えます。

発表中の警報・注意報等の種別

種別	今後の推移(■特別警報級 ■警報級 ■注意報級)										備考・関連する現象
	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18		
大雨 (土砂災害)											以後も注意報級 土砂災害注意
大雨 (浸水害) 1時間最大雨量(ミリ)	30	50	50	50	60	60	40				浸水注意
洪水 (洪水害)											
雷											突風

黄色の時間帯は、注意報級の現象が予想されています。

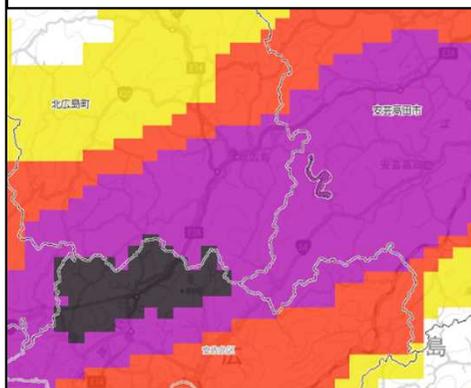
赤色の時間帯は、警報級の現象が予想されています。

これからの危険度の高まりを即座に把握できる！

## どこ

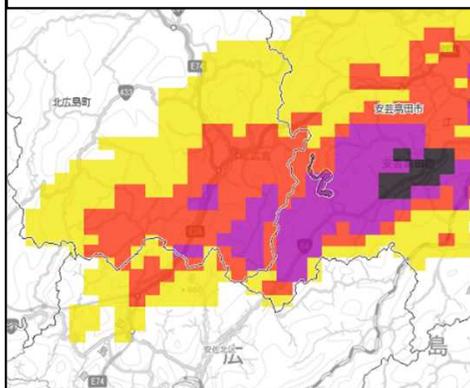
### 土砂キキクル

大雨警報(土砂災害)の危険度分布



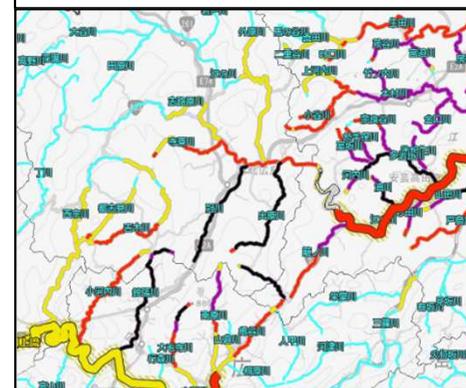
### 浸水キキクル

大雨警報(浸水害)の危険度分布

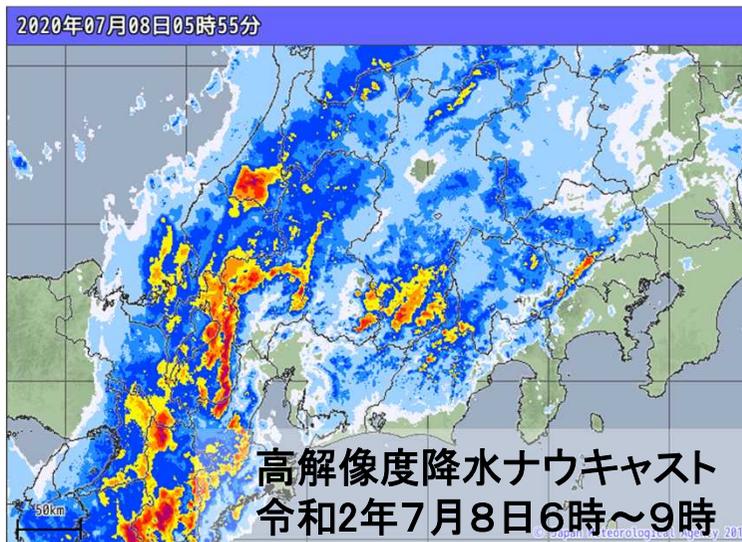
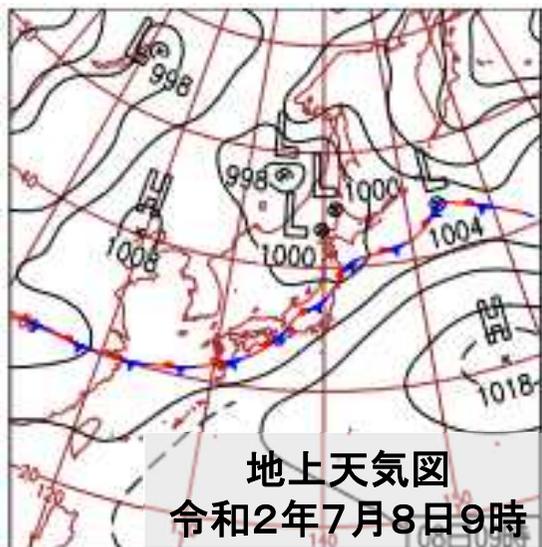


### 洪水キキクル

洪水警報の危険度分布

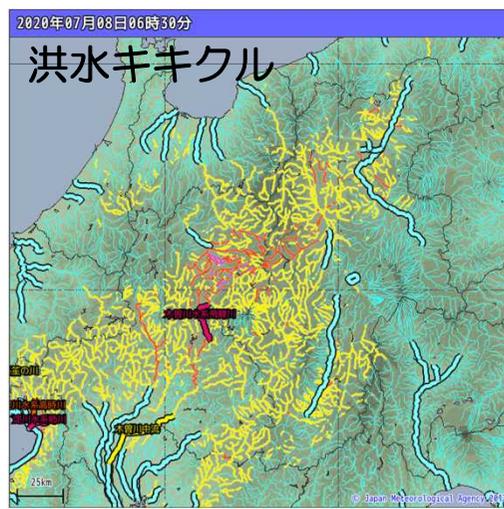
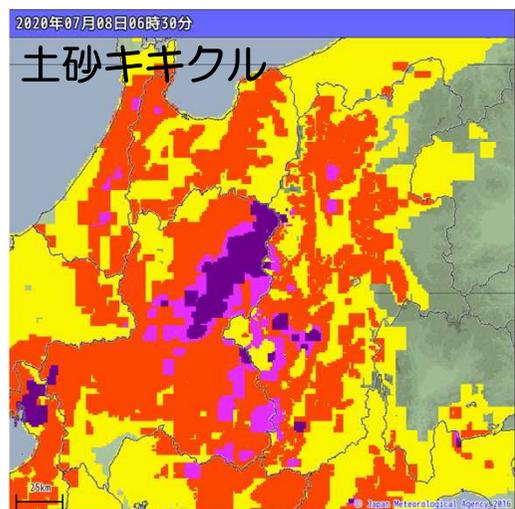


7月3日から7月14日にかけて、梅雨前線が本州付近に停滞し、前線上に低気圧が次々と発生して東に進んだ。前線に向かって暖かく湿った空気が継続して流れ込み、東海地方や甲信地方を中心に広い範囲で大雨となった。



**大雨特別警報発表**  
岐阜県 7/8 6:30  
長野県 7/9 6:43

令和2年7月8日6時30分の土砂キキクルと洪水キキクル



木曽川水系飛騨川では、氾濫が発生



- **東海地方気象情報** 第1号（7/3_3：53）から第28号（7/14_22：39）を発表
- **土砂災害警戒情報の発表状況**（7/3から7/14の発表と解除の回数）  
愛知県 4回、岐阜県20回、三重県0回、静岡県25回
- **指定河川洪水予報の発表状況**（7/3から7/14の発表と解除の回数）  
愛知県 16回、岐阜県34回、三重県0回、静岡県8回
- **大雨特別警報の発表状況**

	大雨特別警報の発表時刻	大雨警報への切替時刻	発表対象市町村	
岐阜県	7/8 6:30	7/8 11:40	6市町村	中津川市 恵那市 郡上市 高山市 飛騨市 下呂市
長野県	7/8 6:43	7/8 11:40	14市町村	松本市（松本、乗鞍上高地） 飯田市 伊那市 安曇野市 宮田村 阿南町 阿智村 下條村 売木村 上松町 南木曾町 王滝村 大桑村 木曾町

## ➤ 合同会見の実施

- ① 7/8 07:30 大雨特別警報に係る合同記者会見（名古屋地台・中部地整）
- ② 7/10 14:00 大雨災害のおそれに関する合同記者会見（名古屋地台・中部地整）



## ➤ 大雨に関する東海地方気象情報 第1号 (7/3_3 : 53)

東海地方では、3日夜のはじめ頃から4日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒してください。特に、1日までに降った大雨により、雨量の多かった地域では、土砂災害の危険度が高まるおそれがあります。

## ➤ 大雨と雷及び突風に関する東海地方気象情報 第10号 (7/7_4 : 28)

東海地方では、8日かけて雷を伴い激しい雨や局地的に非常に激しい雨が降り大雨となるでしょう。これまでの大雨で地盤の緩んでいる所や増水している河川があります。土砂災害に嚴重に警戒してください。また、河川の増水や氾濫に警戒するとともに、低い土地の浸水に注意・警戒してください。

## ➤ 中部地方整備局との合同会見 (7/8_7 : 30 大雨特別警報に係る合同会見)

岐阜県の市町村に大雨特別警報を公表しました。特別警報を公表した市町村では、これまでに経験したことのないような大雨になっています。特に土砂災害警戒区域や浸水想定区域などでは、土砂崩れや浸水による何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当する情報です。命を守るために最善を尽くさなければならない状況です。

危険度の高まりに  
応じてタイミングを  
意識し、  
運送、旅客事業者  
がとりうる対応  
○利用者等への  
情報提供  
○計画運休、  
振替輸送、  
施設保全

危険  
度の  
高まり

## 気象災害に関する過去3年分の資料

- ◆ 災害時自然現象報告（関係機関等の防災業務の参考に気象庁本庁が取りまとめて公表）
- ◆ 大雨、台風等の気象資料（気象速報：東京管区気象台の東海地方も含めた管内資料）

 **気象災害に関する資料(過去3年度分)** ← [東京管区気象台ホームページ「気象災害に関する資料」](#)

### ● 災害時自然現象報告書

災害時自然現象報告書とは、暴風・豪雨・地震等の自然現象による災害が発生した場合に、関係機関等の防災業務の参考とするため、災害を引き起こした現象や気象庁のとった措置等の概要を取り纏め作成・公表しているものです。

#### 東京管区気象台が作成した資料

令和2年台風第14号及び前線による令和2年10月7日から10月11日にかけての大雨等(気象庁HPへのリンクです)

#### 過去3年度以前の資料（気象庁本庁作成資料を含む）

災害時自然現象報告書(気象庁HPへのリンクです)

### ● 大雨、台風等の気象資料（気象速報）

管内で台風等の気象現象により大きな影響を受けた場合に気象状況等を速報的にまとめた資料を掲載します。

**広域版** は管内の複数都県の気象状況や被害についてまとめた資料です。 **東京都版** は東京都の気象状況や被害についてまとめた資料です。

#### 広域版

- 令和4年8月3日から8月5日にかけての大雨に関する気象速報
- 令和3年8月11日から8月15日にかけての大雨に関する気象速報
- 令和3年6月30日から7月4日にかけての大雨に関する気象速報
- 令和3年1月7日から11日にかけての急速に発達した低気圧及び強い冬型の気圧配置に関する気象速報
- 令和2年12月14日から20日にかけての大雪に関する気象速報
- 令和2年7月3日から15日にかけての大雨に関する気象速報・別添資料
- 令和2年7月3日から8日にかけての大雨に関する気象速報
- 令和元年10月25日の大雨に関する気象速報
- 令和元年 台風第19号に関する気象速報
- 令和元年 台風第15号に関する気象速報

#### 過去3年度以前の資料

気象災害に関する資料(過去3年度以前)



広域版は、複数都県で災害が発生した場合に各県の気象状況や被害の状況を取りまとめて作成されます。

東京管区気象台「気象災害に関する資料」

<https://www.data.jma.go.jp/tokyo/shosai/bocho/bosai/disaster/index.html>

危険度の高まりに  
応じた運休計画、  
施設保全等の計  
画を立てて随時見  
直すことが望ましい  
です。

最新の気象情報、  
警報・注意報をもと  
に早い段階から、必  
要な準備をできるだ  
け行ってください。



# 参考資料

---

## ◆雨の強さと降り方

1時間雨量 (mm)	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る。	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内（木造住宅を想定）	雨の音で話し声が良く聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
1時間雨量 (mm)	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上

地面一面に水たまりができる。



ワイパーを速くしても見づらい。



高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。（ハイドロプレーニング現象）



水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。



車の運転は危険。

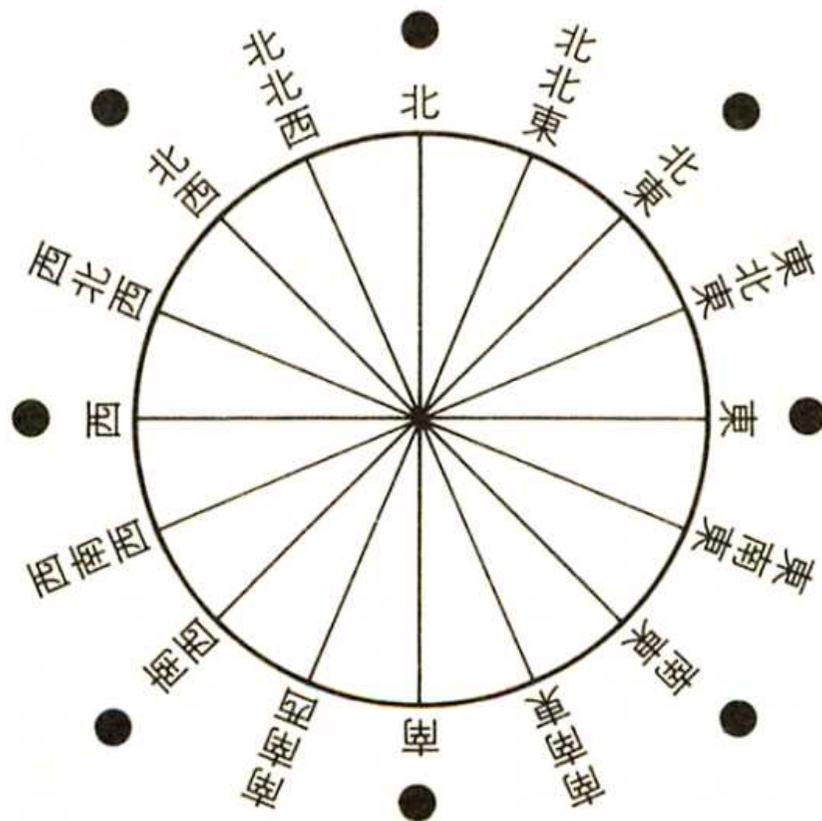


## ◆風の強さと吹き方

平均風速 (m/s)	10以上～15未満	15以上～20未満	20以上～25未満	25以上～30未満	30以上～35未満	35以上～40未満	40以上～
おおよその時速	～50km	～70km	～90km	～110km	～125km	～140km	140km～
風の強さ(予報用語)	やや強い風	強い風	非常に強い風		猛烈な風		
速さの目安	一般道路の自動車		高速道路の自動車		特急電車		
人への影響	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	何かにつかまっていないと立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。		屋外での行動は極めて危険。		
屋外・樹木の様子	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	電線が鳴り始める。看板やタンス板が外れ始める。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。		多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。		
走行中の車	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。	通常ので速度で運転するのが困難になる。		走行中のトラックが横転する。		
建造物	樋(とい)が揺れ始める。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。		固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設定場が崩落する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。	住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。
おおよその瞬間風速 (m/s)	20		30		40		50



## 風向



## 風速

●風速の単位 : 秒速何メートル (m/sec)

- 風速 : 10分間の平均風速
- 最大風速 : 10分間風速の最大値
- 最大瞬間風速 : 瞬間的な風速の最大値

最大瞬間風速と平均風速の比を「突風率 (ガストファクター)」といい、突風率は1.5~2倍程度が一般的。例えば台風等で最大風速20m/sと発表された場合はその2倍の40m/s程度の突風が吹く可能性があります。

- 風速 10m/s ⇒ 36km/h やや強い
- 15m/s ⇒ 55km/h 強い
- 20m/s ⇒ 72km/h 非常に強い(暴風)
- 25m/s ⇒ 92km/h 非常に強い(暴風)
- 30m/s ⇒ 110km/h 猛烈

16方位で表される

天気予報では8方位を使用

風向は風の吹いてくる方向(北風は北から吹いてくる風)

(台風の進行方向は進んで行く方向)

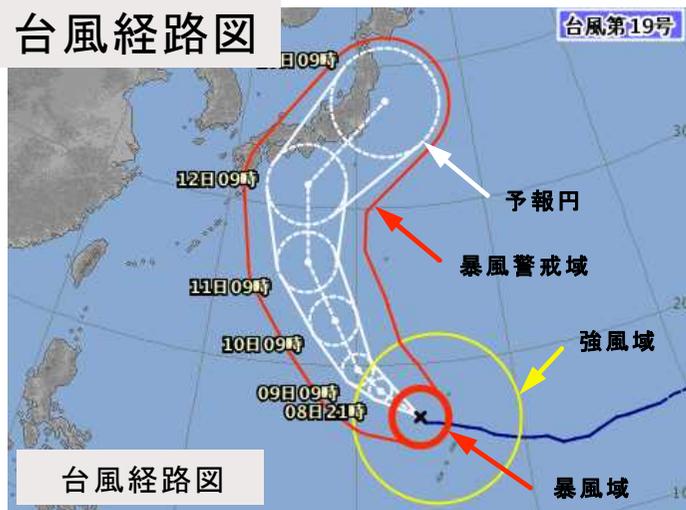
走行中のトラックが横転する。



## 台風経路図、全般台風情報

台風・熱帯低気圧の位置や強さなどを予報し、防災上の注意を呼びかけます。

### 台風経路図



**予報円(白い破線の円)**  
台風の中心が入る確率が70%

**暴風警戒域(赤線の囲み)**  
暴風域に入るおそれのある範囲

**強風域(黄色い円)**  
15m/s以上の風の範囲

**暴風域(赤い円)**  
25m/s以上の風の範囲

### 全般台風情報

▼ 令和元年東日本台風の例  
(台風第19号)

令和元年 台風第19号に関する情報 第32号  
令和元年10月10日17時25分 気象庁予報部発表

(見出し)  
大型で猛烈な台風第19号の影響により、11日までは、東日本太平洋側から南西諸島にかけての広い範囲で猛烈なしけや大しけとなる見込みです。台風はその後、非常に強い勢力を保ったまま、12日午後から13日にかけて、紀伊半島から東日本にかなり接近または上陸し、東日本を中心とした広い範囲で

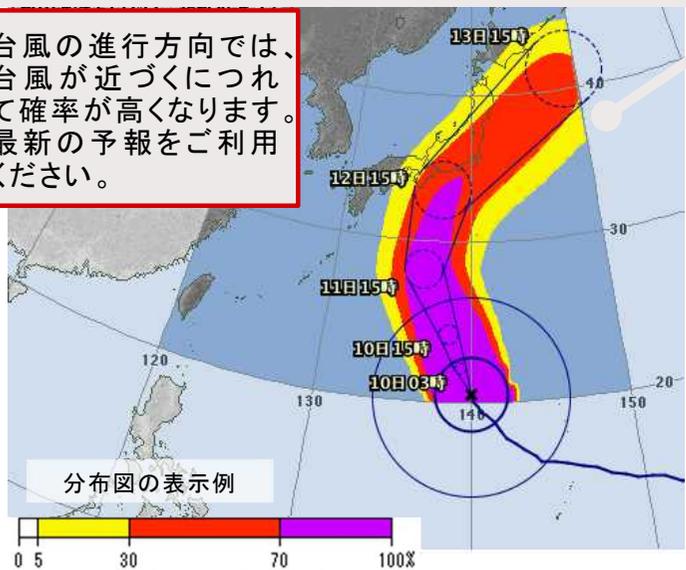
台風の今後の見通しや防災にかかわる情報、台風の発生や上陸などの情報について発表します。

## 暴風域に入る確率

25m/s以上の暴風域に入る確率を分布図と時系列グラフで発表します。

### 暴風域に入る確率(平面図)

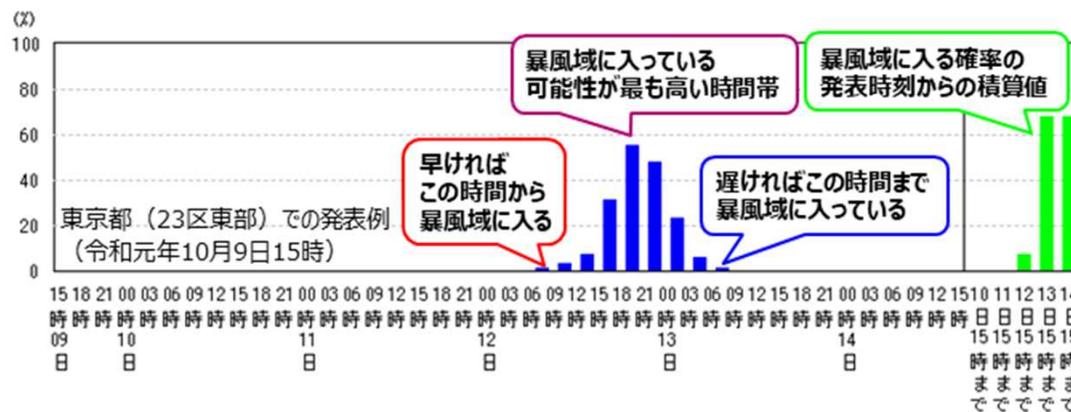
台風の進行方向では、台風が近づくにつれて確率が高くなります。最新の予報をご利用ください。



分布図では、5日先までの暴風域に入る確率を色で表示

25m/s(90km/h)は  
高速道路の自動車並みのスピード！  
立ってられないくらいの風で大変危険。

時系列グラフでは、暴風域に入る時間帯を知ることができます。



▲時系列グラフの表示例(地域ごと)

## 土砂キキクル 色に応じた住民等の行動の例

**黒：災害切迫**

レベル5相当

大雨特別警報(土砂災害)の指標に用いる基準に実況で到達



状況

土砂災害が切迫/すでに発生している可能性大



行動例

命の危険！  
直ちに身の安全を確保

警戒レベル4までに必ず避難！

**紫：危険**

レベル4相当

2時間先までに土砂災害警戒情報の基準に到達すると予想



いつ土砂災害が発生してもおかしくない



土砂災害警戒区域等の外へ避難を！

**赤：警戒**

レベル3相当

2時間先までに警報基準に到達すると予想



土砂災害への警戒が必要



避難所  
高齢者等は土砂災害警戒区域等の外へ避難。高齢者等以外も避難の準備/判断

**黄：注意**

レベル2相当

2時間先までに注意報基準に到達すると予想



土砂災害への注意が必要



避難行動の確認  
雨の降り方に留意

白：今後の情報に留意

監修：気象庁 制作：Yahoo!ニュース

## 洪水キキクル 色に応じた住民等の行動の例

**黒：災害切迫**

レベル5相当

大雨特別警報(浸水害)の指標に用いる基準に実況で到達



状況

洪水災害が切迫/すでに発生している可能性大



行動例

命の危険！  
直ちに身の安全を確保

警戒レベル4までに必ず避難！

**紫：危険**

レベル4相当

3時間先までに警報基準を大きく超過した基準に到達すると予想



重大な洪水災害が今後発生する可能性が高い



一定の水位を超えている場合、安全な場所へ避難を

**赤：警戒**

レベル3相当

3時間先までに警報基準に到達すると予想



洪水災害への警戒が必要



一定の水位を超えている場合、高齢者等は避難を。高齢者等以外も避難の準備/判断

**黄：注意**

レベル2相当

3時間先までに注意報基準に到達すると予想



洪水災害への注意が必要



避難行動の確認  
雨の降り方に留意

水色：今後の情報に留意

監修：気象庁 制作：Yahoo!ニュース

# 防災気象情報の活用 気象台ホームページ

- 「気象台からのコメント」を気象庁ホームページで見ることができます。
- 早めの防災体制構築等の防災対応に役立てていただけるよう、現場の予報官等の最新の解説を確認することができます。

The screenshot shows the homepage of the Japanese Meteorological Agency. The 'Comments from the Meteorological Station' section is highlighted with a red box. It contains the following text:

10月1日11時00分

- ・台風第16号の影響により、引き続き2日朝にかけてうねりを伴って波が高く、外海ではしける見込みです。海岸付近の行動にご留意ください。波浪の早期注意情報（警報級の可能性）「中」は、1日夕方までを見込んでいます。
- ・現在、海上を対象に強風注意報を発表しています。引き続き2日明け方にかけて強風に注意してください。
- ・2日にかけて、雨に関する注意報や警報を発表する可能性は低いです。

### 気象台からのコメント

10月1日11時00分

- ・台風第16号の影響により、引き続き2日朝にかけてうねりを伴って波が高く、外海ではしける見込みです。海岸付近の行動にご留意ください。波浪の早期注意情報（警報級の可能性）「中」は、1日夕方までを見込んでいます。
- ・現在、海上を対象に強風注意報を発表しています。引き続き2日明け方にかけて強風に注意してください。
- ・2日にかけて、雨に関する注意報や警報を発表する可能性は低いです。

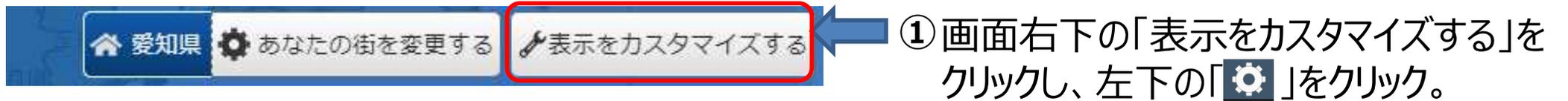
**警報級の可能性の期間、警報・注意報の解除・継続等今後の見通し、発表中の情報等の補足や留意すべきことを記述します。**

### 「気象台からのコメント」の背景色

背景色	コメントで解説する内容
淡い赤紫	特別警報発表中
淡い赤	警報発表中、もしくは明後日までの早期注意情報（警報級の可能性）に「高」がある。
淡い黄	注意報発表中、もしくは明後日までの早期注意情報（警報級の可能性）に「中」がある。
白	警報・注意報なし、かつ明後日までの早期注意情報（警報級の可能性）が「-」。

※淡い黄色を対象とする注意報の種類は、大雨・大雪・高潮です。

## ➤ ホームページの表示をカスタマイズする



② 「コンテンツ一覧」から表示又は削除したい情報を選んでください。

③ 「+現在の状態を新規保存」をクリック。  
「地域名+表示コンテンツ数」をダブルクリックすると名前を入力できます。

④ 「」をクリック

コンテンツ一覧			
<input checked="" type="checkbox"/> 発表中の防災情報	<input checked="" type="checkbox"/> 警報・注意報 (地図)	<input checked="" type="checkbox"/> 台風経路図	<input checked="" type="checkbox"/> 雨雲の動き
<input checked="" type="checkbox"/> 天気予報 (一覧表)	<input checked="" type="checkbox"/> アメダス (地図)	<input checked="" type="checkbox"/> 地震情報 (一覧表)	<input checked="" type="checkbox"/> 南海トラフ地震
<input type="checkbox"/> 噴火警報・予報	<input type="checkbox"/> 洪水キキクル (危険度分布)	<input type="checkbox"/> 土砂キキクル (危険度分布)	<input type="checkbox"/> 浸水キキクル (危険度分布)
<input type="checkbox"/> 現在の雪	<input type="checkbox"/> 天気図	<input type="checkbox"/> 火山解説資料	<input type="checkbox"/> 地震解説資料
<input type="checkbox"/> 津波	<input type="checkbox"/> 気象台からのコメント	<input type="checkbox"/> 指定河川洪水予報	<input type="checkbox"/> 降り始めからの総雨量
<input type="checkbox"/> アメダス (一覧表)	<input type="checkbox"/> 早期注意情報	<input type="checkbox"/> 気象衛星ひまわり	<input type="checkbox"/> 大雨危険度
<input type="checkbox"/> 警報・注意報 (今後の推移)	<input type="checkbox"/> 警報・注意報 (発表状況)	<input type="checkbox"/> 気象情報	

カスタマイズを終了する

⑤ ブックマークに登録すれば次回からこの表示で見られます。

※登録前に「カスタマイズを破棄する」を押すと消えるので注意！

## ➤ スマートフォンからの入手とカスタマイズ



① 「防災気象情報」をタップ



② 画面右上の「☰」をタップ



③ 画面右下の「⚙」をタップ



④ 「コンテンツ一覧」から必要な情報を選択



⑤ 「+現在の状態を新規保存」をタップ



⑥ 「地域名+表示コンテンツ数」をダブルタップすると名前を入力できます



⑦ 画面右下の「⚙」をタップ



⑧ お気に入りに登録すれば、次から登録した情報が表じされます